

「人権 “なかよし” 集会」優しさを中核に



なかよし（人権）集会での話

前回紹介した、なかよし集会の終わりに、時間を頂きました。今回の話は、ある5年生の子が書いた作文。

「優しさを広げる種に」

みなさんは、どんなときに「うれしい」と感じますか？わたしは、お手伝いをして「ありがとう」と言われたときなど「ありがとう。」って言ってもらえることがすごく嬉しいです。こうした嬉しさは、テストで100点を取ったときの嬉しさとはちょっと違います。「ありがとう」の言葉からもらう嬉しさは、じんわり心があたたかくなるような嬉しさです。それは、自分以外の人が私にくれる嬉しさです。（中略）

私は日頃、友達に拍手を送ったり、「おお、すごい。」といった言葉を素直に口にしたりすることを心がけています。それは、私自身が友達から拍手やそうした声をかけてもらって嬉しかったからです。（中略）

だから、優しさをもらったら、その優しさを周りの人にもふりまいて、心を温めてあげる。そんな風にならんと人がかかわったり、つながったりしていけたら、すばらしいのではないのでしょうか。（後略）



中部小に、優しさの輪が広がっていくことを願い、期待しています。それは一人一人の小さな心がけにかかっているはずですよ（\*^o^\*）

学校は、勉強を教えるだけの所じゃない！

「そりゃ分かっていますよ！」という声が聞こえてきそうですが、子供たちの人間力を培うために、毎月“生活のめあて”が提示されています。今月12月は、師走にちなんで、自分の物、学校の物を大切にしようというめあてです。では、そのめあて達成の意欲付けにと職員が放送で呼びかけた内容を紹介しましょう。

12月は慌ただしい月。そんな中でも、自分や学校の物をきちんと大切に扱い、身の回りの整理整頓をしていく必要があります。整理整頓をしていく上で大切なことを今から3つお話をしますので、自分は

できているかなと振り返りながら聞いて下さい。

1 つ目は、「自分のものに名前を書くこと」です。文房具やハンカチ、制服や帽子など、自分が持っている物は多くあると思います。みなさんは、一つ一つのものに名前を書いていますか？名前を書いていなかったらどんなことが起きるでしょうか？（中略）

2 つ目は、「使ったものは元の場所に戻すこと」です。自分の物はもちろん、みんなで使った物をきちんと元の場所に戻していますか？箒や雑巾などの掃除用具、ボールや本など…たくさんの物をみんなは使っていると思います。それらを元の場所にきちんと戻すことで、常に綺麗な状態で整理されます。綺麗に整理されたところは、自然とみんなが綺麗に戻そうとします。逆に一つでもずれていたり、並んでなかったりしていたら…。（中略）

最後、3 つ目ですが、「ものを使うときには正しい使い方大切に使うこと」です。（中略）野球選手で世界的にも活躍をしたイチローさんは、どうやったら野球が上手くなるかという質問に、バッドやグローブを大切にすることが野球上達の秘訣と答えています。今、活躍をしている大谷選手もバッドやグローブを置くときには優しく置く様子を見かけます。世界的に活躍している人や成功をしている人は、やはり、自分の物を大切に使っています。物を正しい使い方大切に使うことが、勉強をするにしても、スポーツをするにしても、自分が何かを成し遂げられることに繋がる可能性があると思います。（中略）物を大切にできる人は、人の心も大切にできる人です。また、整理整頓をすると心が綺麗になります。慌ただしくて忙しい12月ですが、ぜひ、そんな時こそ、普段使っている物を大切に使う月にしていきたいですね。（おしまい）



【天才を作る子育てのルール】 Vol. 2

◎大橋悠依選手

東京 Olympic 水泳個人メドレーで、2冠を達成した大橋選手。大学生の時、極度の貧血に陥り「水泳をやめるかも」と両親に相談したときの答えは、これ！

「じゃあ、実家に戻ってくる？」

そう、もったいないというプレッシャーは、一切かけなかったのだそうです。決断は子供。親はそれを応援するだけ。そのスタンスが少しも揺らぐことはなかったのだとか。いやあ、僕がその立場だったら、

「せつかくここまでやってきたんだから・・・」そんな風に答えたであらうなあ～！そう、親のエゴでね！結局、両親の潔さが数年後の Olympic champion を生んだのですからね！何を基軸に判断するか。本当に学ばされる逸話です。

